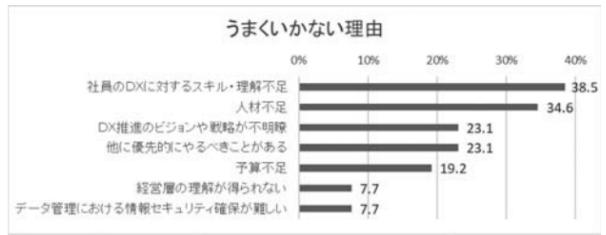
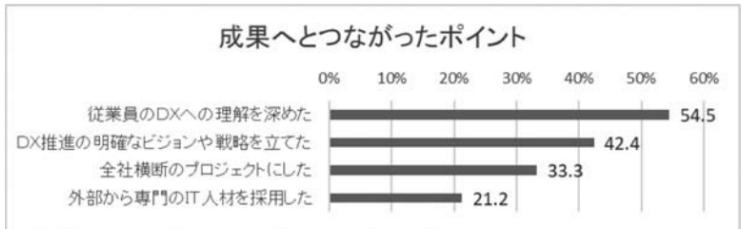


中小企業、DXの成功要因「従業員の理解を深めた」が半数超に

サクサHDが経営者らのアンケート

サクサホールディングス(東京都港区)が実施した、建設業など中小企業の経営層(経営者、役員)調査によると、DX(デジタルトランスフォーメーション)で成果をあげた要因で最も多かったのは「従業員のDXへの理解を深めた」で、全体の半数以上に達した。一方、「DXがうまくいかない理由」を聞いたところ、「社員のDXに対するスキル・理解不足」との回答が最も多かった。「人材不足」と答えた経営層も多かった。不動産・建設業も今後、従業員のDXのスキルアップや関連人材の獲得が必要となるとみられる。

サクサは中堅・中小シタル技術を活用し、アンケートで「実施企業のオフィスのDXで、顧客や社会のニーズが成果へのつ支援や情報通信システムを基に、製品やサービスがポイント(工場の開発、製造、販売)をビジネスモデル(夫)は何か」と聞いたなどを手掛けている。を改革することだ。業と「従業員のDX調査は同社が中小企業務そのものだけではないXへの理解を深めた」の経営者や役員を対象、組織、プロセス、が全体の54・5%を占に7月21〜24日に実施企業文化・風土を改革、最も高い割合を占し、218件の回答をするXとDと呼ばれた。次に多かったのは「DX推進の明確な業種は不動産、建設業激しくなる中、生産性ビジョンや戦略を立てのほか、情報通信、製の向上や市場の変化へ」で42・4%。「全造、卸売・小売、サーの迅速な対応、新商品社横断のプロジェクト」も33・3%をBIS、金融・保険、宿・サービスの開発などに占めた。DX施策では、泊など。のために必要とされてきた。DXは、データやデ



で、従業員1人1人が協力していくことが成功の秘訣になるという結果になった。「外部から専門のIT人材を採用した」は21・2%だった。一方、「DXがうまくいかない理由は何か」(複数回答)を聞いたところ、最も多かったのは「社員のDXに対するスキル・理解不足」(38・5%)、「人材不足」(34・6%)で続き、人材の能力や有能な人材

「経営層の理解が得られない」(7・7%)、「データ管理の情報セキュリティ確保が難しい」(7・7%)といった回答もあった。DXを通じて生産性向上の妨げになっていることを示した。「予算不足」(19・2%)、「経営層の理解が得られない」(7・7%)、「データ管理の情報セキュリティ確保が難しい」(7・7%)といった回答もあった。